

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

《私たちは、地域が誇る学校にします。》

1

私たちは、教育公務員としての「覚悟」をもって職務に専念します。

2

私たちは、生徒を守り、育てます。

3

私たちは、チームで子どもたちと向き合います。

尾道市立因島南中学校

作成責任者 校長 金子 浩之

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○公教育に携わっているという当事者意識を高める必要がある ○教職員の根拠（法令・諸規程集・根拠文書等）に基づいた仕事に個人差がある。 ○「個人情報」「鍵の管理」に緊張感が緩い。	○教育公務員としての自覚を更に深める。 ○法令・諸規程集・根拠文書等に基づく事務処理を徹底する。 ○保管システムの徹底、防止を念頭に置いた「見える化」を一層推進し、個人情報取扱者としての自覚を更に高める。	○研修の際、「不祥事防止に向けた本校の決意」の確認を行い、教育公務員としての意識を高める。 ○起案や出席簿の取扱等、法令・諸規程集・根拠文書等をもとに確認する。 ○個人情報や鍵の管理について、持ち出し簿への記録や持ち出し者名の明記を徹底する。	○服務研修についてのアンケート調査を定期的に行う。 ○起案に法令・根拠文書等が添付されているか点検する。また、出席簿の書き方等の点検を、毎週確認する。 ○個人情報管理についての研修を4月に実施し、管理職が持ち出し簿の点検を確実に行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事は生じないとの安心感が、懸念を指摘する声为上回っている。 ○速やかな「報告・連絡・相談」を、更に徹底する必要がある。また、教職員間の相互注意喚起を行う必要がある。 ○教職員が主体的に参加する研修に必要がある。 ○組織で業務を行う意識を更に高め、業務改善を推移し、計画的に公務を推進する必要がある。	○不祥事防止に係わる重点化を図り、意識を高くして取り組む。 ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進する。また、学年を越え協働で業務を進めることができる雰囲気を作る。 ○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施する。 ○退校時間を設定し、業務の効率化をさらに進める。	○服務研修により、具体的行動・検証の場を設ける。月ごとの研修で周知・確認する。 ○各主任・主事は、職員の気になる言動を把握し、管理職と連携し相談・指導にあたる。 ○不祥事防止委員会を確実に開催する。 ○各教職員の業務量等や進捗状況を把握し、業務の分担や個別面談等を実施する。	○目標に対する取組み状況を不祥事防止委員会で検証する。 ○不祥事防止委員会等での教職員の気になる言動等について情報交換を行う。 ○毎月1回以上の不祥事防止委員会を完全実施する。 ○業務改善に係る教職員の意識アンケートを毎月実施する。
相談体制の確立	○「体罰・セクシャルハラスメント相談窓口」は周知されている。相談件数がないから、何も起こっていないとは限らない。 ○教育相談活動の一層の充実に努める必要がある。	○「相談窓口」の継続した周知に努め、アンケートの実施、相談日の設定等、活性化を図る。 ○「生徒との時間」を大切にしたい、誰もが相談を行うことができる機会を増やす。	○「学校だより」「学年通信」等で「相談窓口」や意見・気づき等の情報収集をする。 ○「教育相談週間」（学期に1回）を充実させる。	○生徒、保護者を対象にアンケートを実施する。 ○情報があれば、管理職・学年に「報告・連絡・相談」をする。